

マージンが運用容量を超過する場合について 【東北東京間連系線（東京⇒東北）】

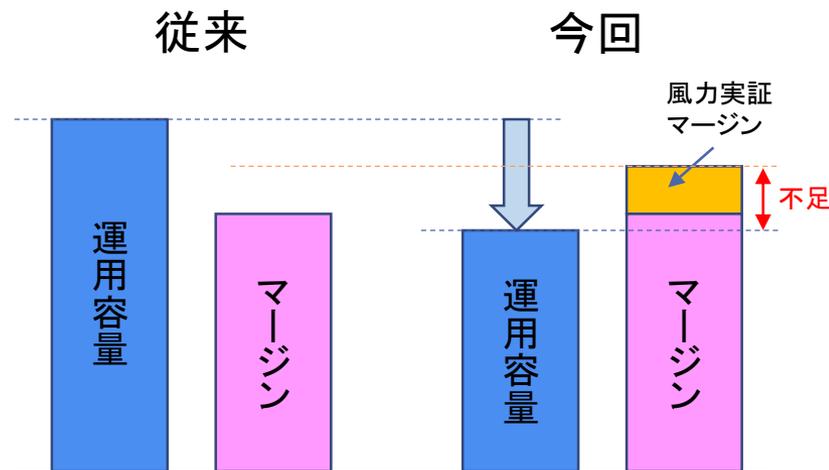
2018年2月9日

○はじめに

今年度の算出における東北東京間連系線（東京⇒東北）において、北海道風力実証試験にかかるマージンの設定、および、中西地域周波数低下事象への対応のために運用容量を見直したことにより、

「運用容量」 < 「マージン」
となる断面が一部において発生する。

連系線の管理上、運用容量を超えたマージンの設定はできないことから、対応を検討する。



従来と今回の運用容量・マージンのイメージ

○対応

マージンが運用容量を超過する場合は、運用容量を上限としてマージンを設定する。

【考え方】

- 北海道本州間連系設備に不足分のマージンを設定する方法も考えられるが、北海道本州間連系設備の空容量を減らしてしまうとともに、設定しきれない場合があるため、効果は十分ではない。
- 現状は潮流が東北⇒東京に重潮流であり、不足分のマージンが必要となる東京⇒東北の潮流となる特殊な状況では、連系線の系統構成を見直し運用容量を変更することが想定されることから、マージンについてもその際に再検討を行うこととなる。

➡ よって、現状においては運用容量を上限としてマージンを設定する。

〔平日〕

(単位: MW)

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	580	510	620	800	800	680	520	610	670	720	720	660
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		588	518	628	808	808	688	532	622	682	732	732	672
東京⇒東北	A1	310	290	320	370	380	340	310	350	380	400	400	380
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		318	298	328	378	388	348	322	362	392	412	412	392
【参考】 運用容量	昼間	350	330	370	380	320	370	360	380	420	460	460	410
	夜間	280	250	270	280	240	280	270	300	340	380	390	360

〔休日〕

(単位: MW)

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	450	450	450	680	680	570	450	470	610	650	640	560
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		458	458	458	688	688	578	462	482	622	662	652	572
東京⇒東北	A1	290	270	290	320	330	310	300	330	350	380	360	330
	B0	8	8	8	8	8	8	12	12	12	12	12	12
		298	278	298	328	338	318	312	342	362	392	372	342
【参考】 運用容量	昼間	300	260	310	330	300	330	310	330	370	340	400	360
	夜間	280	230	280	280	230	280	270	290	380	360	410	360

(説明) ○ 個所は、昼間や夜間に運用容量を超えたマージンとなる場合があることから、昼間・夜間帯別に運用容量を上限にマージンを設定する(マージンが赤字の値となる)。想定需要の見直しや系統構成の見直し等により運用容量が変更となる場合は、マージンも変更する

○ 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり

[平日]

(単位: MW)

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	580	510	620	800	800	690	520	610	670	720	720	660
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		592	532	642	822	822	712	543	633	698	748	748	688
東京⇒東北	A1	310	290	310	370	380	340	310	350	380	400	400	370
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		322	312	332	392	402	362	333	373	408	428	428	398
【参考】 運用容量	昼間	350	330	350	380	320	370	360	390	420	460	470	390
	夜間	280	250	260	280	240	280	270	300	340	380	400	340

[休日]

(単位: MW)

方向	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
東北⇒東京	A1	460	450	450	690	690	580	450	470	610	640	640	560
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		472	472	472	712	712	602	473	493	638	668	668	588
東京⇒東北	A1	290	270	280	320	330	310	300	330	360	380	360	320
	B0	12	22	22	22	22	22	23	23	28	28	28	28
		302	292	302	342	352	332	323	353	388	408	388	348
【参考】 運用容量	昼間	300	260	300	330	300	330	310	330	370	340	400	340
	夜間	280	230	260	280	230	280	270	290	380	360	410	340

(説明) ○ 箇所は、昼間や夜間に運用容量を超えたマージンとなる場合があることから、昼間・夜間帯別に運用容量を上限にマージンを設定する(マージンが赤字の値となる)。想定需要の見直しや系統構成の見直し等により運用容量が変更となる場合は、マージンも変更する

○ 想定需要の見直し等や北海道風力実証試験発電機の運開月・連系量の変更等により、マージンの値は今後変更となる可能性あり